

2025 年度 表彰式・受賞者を囲む会の開催

2025 年度情報通信技術賞・情報通信技術標準化奨励賞・功労賞表彰式及び受賞者を囲む会が、6月18日、明治記念館（東京都港区）において100名を超える多くの方々の参加を得て盛大に催されました。

TTC では、2004 年度から毎年度、情報通信ネットワークに係る標準の作成・普及に貢献された方々などを表彰しています。標準化人材の育成に向けて今後活躍が期待される若手を対象とする「情報通信技術標準化奨励賞」の創設等の制度見直しが行われて迎えた 2025 年度の表彰では、情報通信技術賞 総務大臣表彰2名、情報通信技術賞 TTC 会長表彰6名、情報通信技術標準化奨励賞8名、功労賞 14 名1団体が受賞されました。

表彰式では、原島 博 会長の式辞に続き、来賓の総務省大臣官房審議官 近藤 玲子様から祝辞を賜りました。近藤様の祝辞では、Beyond 5G 時代を見据えて日本の企業等が国際競争力を確保する上で、知的財産化や国際標準化が重要であり、これを研究開発やその成果の社会実装と一体的に推進していく必要がある、また、標準化分野における若手人材の不足が課題となっていることから、受賞者の皆様には次世代の人材育成にもご協力いただきたい、とのお話がありました。

続いて村井 純 表彰選考委員会委員長より選考結果の報告が行われた後、各受賞者に対して表彰状が授与されました。

受賞者を代表して、情報通信技術賞 総務大臣表彰を受賞された2名の方から、それぞれご挨拶をいただきました。高谷 和宏 様（NTT グリーン&フード株式会社）からは、標準化活動を通じて、通信機械室やデータセンタ内における無線端末使用を可能にする装置要件を明確化して勧告化を実現したこと、省エネルギーの観点から通信装置に影響を与えない蛍光灯の検証、勧告化に取り組んだこと等、ご自身の経験を紹介いただきました。また、電磁環境が複雑化する中、安全・安心で信頼性の高い通信サービスの実現に貢献できたことについて関係者の皆様のご支援・ご協力に感謝するとともに、今後も情報通信分野の発展に尽力したい、とのお話がありました。

三宅 優 様（株式会社 KDDI 総合研究所）からは、ITU-T や TTC（セキュリティ専門委員会初代委員長）における活動を通じて、情報セキュリティ分野における日本の取組みの国際標準への展開、国際連携、新たな情報セキュリティ事案への対応を行ったことなど、ご自身の経歴をご紹介いただきました。また、ネットワークサービスにおけるセキュリティの重要性が年々高まる中、国レベルでの対応や国際連携が不可欠である、今後はこれまでの経験を生かし、次世代の支援を通じてこの分野の発展に貢献したい、とのお話がありました。

表彰式に引き続いて開催された受賞者を囲む会には、会員のほか、総務省・関係団体等から多数の方々にご出席いただきました。出席者の皆様は、受賞された方々を囲み、和やかな雰囲気の下で歓談されていました。

受賞者の皆様のごこれまでの功績に深く敬意を表するとともに、今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。また、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



原島 博 TTC 会長



近藤 玲子 総務省大臣官房審議官



村井 純 表彰選考委員会委員長

2025 年度TTC表彰 受賞者の皆様

1 情報通信技術賞 総務大臣表彰

(1) 「通信設備・装置の信頼性及び持続可能性の向上に資する標準化への貢献」

NTT グリーン&フード株式会社

高谷 和宏 様



2007 年より、通信設備・装置の電磁環境両立性（EMC）、信頼性向上に関する国際標準化活動に従事し、FTTH、DSL、WiFi 等の普及により複雑化されたホームネットワーク環境に対する勧告 ITU-T K.74、K.93 の作成を通じて、通信事業者の責任分界点の明確化と装置の信頼性向上に貢献した。さらに国際情勢を踏まえ、高高度核爆発等の軍事的脅威や悪意ある電磁攻撃リスクに対処するための勧告群：ITU-T K.78、K.81、K.84、K.87、K.115 の作成を主導し、通信インフラの電磁的セキュリティ対策の明確化に大きく貢献した。

2016 年からは、ITU-T SG 5 副議長を務め、EMC/電磁界（EMF）/レジスティビリティ分野の国際標準機関間の調整を主導し、国際標準の整合性確保と所掌範囲の明確化に尽力した。EMC/EMF の分野では、通信システム多様化に応じた要求条件の適正化を図り、ITU-T K.123、K.127、K.132、K.136、K.137、K.143、K.152 等の作成を通じて、電磁現象に対する信頼性向上に貢献した。レジスティビリティの分野では、我が国の TT 接地方式が欧米諸国の採用する TN 接地方式と比較して、より強固な耐雷性が求められることを、実故障データで立証し、ITU-T K.20、K.21、K.44、K.45 の試験条件の改訂関連補助文書（K Suppl.21 等）の作成を通じて、我が国の通信インフラの雷対策を明確化した。さらに、TTC 標準策定支援、学術活動、国際標準化人材育成にも尽力し、我が国の国際標準化活動の発展に大きく貢献した。

(2) 「ネットワークセキュリティに関する国際標準化への貢献」

株式会社 KDDI 総合研究所

三宅 優 様



2005 年から ITU-T SG17（セキュリティ）のアソシエイトレポート、SG 副議長、WP 議長及び FG 副議長を歴任するとともに、TTC セキュリティ専門委員会が設立された 2011 年より初代委員長として、情報通信ネットワーク分野におけるセキュリティ標準化の国際的な推進において顕著な功績を挙げ大きく貢献した。総務省が民間インターネットサービス事業者と推進した迷惑メール対策の取り組み（法整備と技術的な対策）に参画し、2009 年に発行した ITU-T X.1240 シリーズ補足文書で日本国内の事例を紹介することにより、日本のインターネットサービス事業者

の先端的な取り組みとその効果を各国に伝え、その後の世界的な対策の普及に大きく貢献した。また、社会インフラとなる通信ネットワークとして大きく発展した 5G ネットワークのセキュリティへの懸念から、欧米を中心とした各国政府が独自のセキュリティ対策を推進する中で、KDDI が国内モバイル通信事業者と連携して作成を進めた「5G セキュリティガイドライン」の取りまとめ役として関係者をリードしながら活動するとともに、ITU-T 勧告化（X.1818）を筆頭責任者として完遂し、先進的な日本の取り組みを世界に発信した。さらに、IoT ネットワーク等で収集されるパーソナルデータの管理機構の勧告化（X.1363）等、セキュリティに関わる幅広い分野に関与し、ITU-T SG17 全体における議論の活性化と日本のプレゼンス向上に貢献した。

2 情報通信技術賞 TTC 会長表彰

(1) 「移動通信ネットワークアーキテクチャ・プロトコルの標準化にかかわる功績」

株式会社 NTT ドコモ

石川 寛 様



移動通信システムのコアネットワークの国際標準化活動において長年にわたり中心的役割を担い、多大な貢献を果たした。3GPP TSG-CT 及び CT 4 の副議長として、5G コアネットワークの仕様策定を主導し、多岐にわたる革新的仕様が策定・実現した。また、IMS 関連の付加サービスや緊急通話の仕様策定、回線交換とパケットの分離規制などを通じて、柔軟で効率的なネットワーク運用基盤の構築など信頼性・利便性を高め、移動通信システム（3G～5G）の普及に貢献した。

(2) 「標準化活動における新規分野開拓並びに人材育成にかかわる功績」

元 KDDI 株式会社

大谷 朋広 様



TTC の標準化会議及び企画戦略委員会のリーダーとして、日本の ICT 分野における標準化活動の推進と情報通信業界の発展に多大な貢献を行った。IOWN GF 専門委員会設立や ITU-T SG13 への提案を通じて日本発のオールフォトニックネットワーク技術の国際標準化を進め、世界への技術発信に貢献した。また、キャパシティビルディングアドバイザーグループの設立などを推進し、日本における標準化人材育成に寄与した。

(3) 「キャリア光ネットワークインタフェース標準化活動にかかわる功績」

日本電信電話株式会社

曽根 由明 様



キャリア向け光ネットワークインタフェースの標準化に長年尽力し、オープンなエコシステムの構築と国産技術の世界普及に多大な貢献を行った。OpenROADM MSA のボードメンバーとして、400 ギガ世代の光インタフェースに関する標準化活動を主導し、異ベンダ間相互接続実現を通じた市場形成に寄与した。また、IEEE 802.3 においてモバイルバックホール向けの長延化イーサネット規格の策定に貢献した。

(4) 「W3C Web of Things (WoT) 標準化及び普及にかかわる功績」

株式会社日立製作所

東村 邦彦 様



IoT 技術の相互接続問題を解決するための Web of Things (WoT) の標準化と普及に多大な貢献を行った。W3C WoT Plugfest において PoC 実証実験の環境を構築し、WoT と産業 IoT 標準の相互接続性の検証に貢献した。また、WoT-JP CG を設立して、その共同議長などを務め、国内での WoT 標準の普及などに寄与した。さらに、WoT Discovery などの共同エディタとして、IoT デバイスの相互接続容易化に貢献した。

(5) 「IEEE802 無線通信における周波数共用の標準化にかかわる功績」

三菱電機株式会社

永井 幸政 様^{※1}

IEEE 802 での無線周波数共用技術の標準化において、長年にわたり技術提案を行い多数の規格策定に関与するとともに、新規仕様の標準化を主導して日本発技術の国際標準化を推進するなど、多大な貢献を行った。スマートメータ等での無線干渉課題への対応や効率的周波数共用方式に関する提案を行い、日本のプレゼンス向上に寄与した。また、日本人初の IEEE 802.19 WG Secretary として、IEEE P802 における周波数共用技術の標準化を牽引した。

(6) 「アイデンティティの標準化促進並びに途上国における人権問題の解決に関する取組みにかかわる功績」

SPRIN-D(ドイツ連邦 飛躍的イノベーション機関) 安田 クリスチーナ 様



検証可能クレデンシャル (VC) などの分散型デジタルアイデンティティ技術の標準化において世界的な活動を展開し、多大な貢献を行った。OpenID Foundation 及び W3C で共同議長、IETF でエディタを務めるほか、ISO で電子運転免許証関連の技術標準に貢献し、多数の国際標準の策定を主導した。Trusted Web などを通じて日本の情報通信におけるトラスト向上に寄与した。また、途上国での NGO 活動を通して、人がオンライン空間でも尊重される世界の構築に向けた貢献を行った。

※1 永井 幸政 様はご都合により表彰式を欠席されました。

3 情報通信技術標準化奨励賞

情報通信技術標準化奨励賞は、標準化人材の育成に向けて今後活躍が期待される若手の方々を対象とする表彰制度として新たに創設されたもので、今回が最初の表彰になります。

(1) 「通信装置のソフトウェア対策に関する国際標準化の取組みとトランスポートネットワーク領域での継続的な取組み」



日本電気株式会社

飯塚 浩人 様

(2) 「3GPP における標準化技術提案に関する取組み」



富士通株式会社

北川 幸一郎 様

(3) 「TM Forum を中心としたオペレーション標準化に関する取組み」

日本電信電話株式会社

呉 超 様^{※2}

(4) 「3GPP 標準におけるネットワークスライスに関する取組み」



KDDI 株式会社

齋藤 幸寿 様

(5) 「IEEE802.11 無線 LAN 国際標準化に関する取組み」



ソニー株式会社

田中 悠介 様

(6) 「IETF での国際化フレームワーク推進に関する取組み」



東京農工大学

根本 貴弘 様

(7) 「ETSI-ZSM での Intent 及び Digital Twin 標準化に関する取組み」



エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社

村井 証貴 様

(8) 「3GPP SA1 における 5G Advanced 及び 6G 国際標準化に関する取組み」



株式会社 NTT ドコモ

山内 健太 様

※2 呉 超 様はご都合により表彰式を欠席されました。

4 功 労 賞

(1) 「永年にわたる移動通信網に関する標準化の推進にかかわる功績」

富士通株式会社

相川 慎一郎 様

(2) 「企画戦略委員会委員として時代に即応した標準化活動にかかわる功績」

元 富士通株式会社

石岡 譲 様

(3) 「屋外光設備の接続性及び保守・運用に関する標準化活動にかかわる功績」

日本電信電話株式会社

鬼頭 千尋 様

(4) 「アクセス網に関する標準化活動にかかわる功績」

日本電信電話株式会社

胡間 遼 様

(5) 「永年にわたる企業ネットワークに関する標準化の推進にかかわる功績」

沖電気工業株式会社

佐々木 祥一 様

(6) 「PSTN マイグレーションに関する I P 相互接続仕様の標準化活動にかかわる功績」

株式会社 NTT ドコモ

佐藤 隆之 様

(7)「AI 活用の適用事例の調査・検討にかかわる功績」

日本無線株式会社

高木 延寿 様

(8)「多重分離インタフェースと網同期に関する標準化活動にかかわる功績」

日本電気株式会社

帯刀 崇 様

(9)「企画戦略委員会委員として時代に即応した標準化活動にかかわる功績」

日本電信電話株式会社

辻河 亨 様

(10)「ITU-T SG20 に関する標準化活動にかかわる功績」

早稲田大学

中里 秀則 様

(11)「伝送網の装置機能及び管理に関する標準化の推進にかかわる功績」

日本電信電話株式会社

深谷 崇文 様

(12)「AI 拡張テレコム運用管理フレームワーク (AITOM) の標準作成にかかわる功績」

富士通株式会社

村田 政雄 様

(13)「光ファイバケーブルに関する標準化活動にかかわる功績」

通信電線線材協会

山本 義典 様

(14)「企画戦略委員会委員として時代に即応した標準化活動にかかわる功績」

KDDI 株式会社

渡辺 伸吾 様

(15)「PSTN マイグレーションの社会実装に関する技術支援活動にかかわる功績」

団体名 PSTN マイグレ SIP 技術標準化及び実装推進チーム

(代表者 坂谷 精一 様)

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	清水 宏 様	元 日本電信電話株式会社	井上 芳洋 様
エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社	平木 健一 様	元 日本電信電話株式会社	永徳 はるか 様
株式会社 NTT ドコモ	笹部 晃秀 様	元 日本電信電話株式会社	小川 宗晃 様
沖電気工業株式会社	西村 貴士 様	元 日本電信電話株式会社	柏原 幸宏 様
KDDI 株式会社	海老原 成 様	元 日本電信電話株式会社	鐘ヶ江 俊介 様
KDDI 株式会社	蓑田 学 様	元 日本電信電話株式会社	乗松 敏雄 様
KDDI 株式会社	宮崎 悠 様	元 日本電信電話株式会社	古川 聖 様
ソフトバンク株式会社	屋野 理沙 様	元 日本電気株式会社	鈴木 直明 様
ソフトバンク株式会社	黒川 英貴 様	東日本電信電話株式会社	青木 祐介 様
ソフトバンク株式会社	齋藤 忍 様	東日本電信電話株式会社	鈴木 康士 様
ソフトバンク株式会社	寺崎 公人 様	東日本電信電話株式会社	高瀬 琢磨 様
ソフトバンク株式会社	山口 耕平 様	東日本電信電話株式会社	田村 優明 様
元 ソフトバンク株式会社	濱田 昌浩 様	東日本電信電話株式会社	吉川 智之 様
西日本電信電話株式会社	井上 高伸 様	元 東日本電信電話株式会社	本多 康彦 様
西日本電信電話株式会社	関森 建人 様	楽天モバイル株式会社	伊藤 丈博 様
日本電信電話株式会社	荒井 健二郎 様	リボン・コミュニケーションズ株式会社	古閑 健一 様
日本電信電話株式会社	坂谷 精一 様		



情報通信技術賞・情報通信技術標準化奨励賞・功労賞（個人）の受賞者の皆様



情報通信技術賞・功労賞（PSTN マイグレ SIP 技術標準化及び実装推進チーム）の受賞者の皆様

※記事中の会社名称は、受賞当時のものを記載しております。